

# Dreams Come True

発行：進路担当

## 第三者懇談会に向けて.....



北中祭や国スパが終わり、すっかり教室は進路モードになりましたね。例年だと、このあたりから宿休みなどに教室で勉強をしている人が増えてくるのですが……。皆さん、どう過ごしていますか？時間を有効に使いながら、限られた時間を大切に使っていきましょうね。さて、進路決定といえば第三者懇談会ですね。今回の第三者懇談会では、主に以下のポイントについて話をします。

- ①希望する進路の方向性について（就職？進学？）
- ②（進学の場合）どこに進学を希望するのか
- ③（第一希望が県立高校の場合）私立の併願についてはどうするつもりなのか

三つの内容について、自分の気持ちは固まっていますか？

12月の懇談では、最終決定をしていくことになります。おうちの方と、しっかり話はできていますか？希望の進路を実現するうえで、おうちの方の協力は欠かせません。懇談の場でもめることがないように、必ず事前におうちで話をしておきましょう。

## 学習・生活面に関わる推薦について

県立高校の「学校独自型選抜」の「校長推薦」のうち、学習・生活面に関わる推薦について、今年度から流れが大きく変更となります。入試が早くなりましたが、例年より前倒しして意思確認等をすすめます。

詳しくは、次回の進路説明会でお話します。流れは、下のようになりますので、ご確認ください。

- ① 11月の進路希望調査で、「対象の県立高校が第1志望であること」および、「条件を満たせば、学校独自型選抜の受検を希望すること」を確認します。（11/12配布・11/19〆切厳守）  
↓
- ② 学校独自型選抜で、「校長推薦」の受け方ができる県立高校を第1志望にしている生徒について、「各高校が定める基準」をクリアしているか中学校で確認します。  
(各高校が定める基準については、「高等学校別入学者選抜概要」などをご覧ください)  
↓
- ③ 各高校が定める基準をクリアしている生徒で、かつ「中学校長が推薦できる人」について、12月の第三者懇談の際に中学校から「学校独自型選抜を受けられます」という連絡をします。  
※11月希望調査の用紙で「学校独自型選抜の受検」を「希望しない」と回答している場合は、  
対象とならず、受検することはできません。（12月第三者懇談の際の変更は、認めません）  
↓
- ④ 受検の意志を確定したら、説明を受け、手続き依頼書に記入のうえ12/23までに提出します。

※上の説明にも書いていますが、「第1志望」であることが絶対条件です。（第2志望以下の学校については、仮に基準を満たしていても、「第1志望」が要件の1つとなっているので、対象外となります）

## 学校紹介動画について

以前の通信で「スクール・ミッション」について紹介しましたが、今回は「学校紹介動画」についてお知らせしたいと思います。滋賀県教育委員会では、受検を控えた皆さんのために「学校紹介動画」というものを準備しています。県内の県立高校それぞれの特色を動画で紹介されているので、高校どうしの比較もしやすいと思います。時間があるときに、ぜひ見てください。

滋賀県教育委員会トップページ > 学校教育 > 滋賀県立高等学校等特色紹介

<https://www.pref.shiga.lg.jp/edu/school/tokusyoku/325931.html>

(検索エンジンで「滋賀県立高等学校 学校紹介動画」でトップに表示されます)



## タブレット端末について

各高校の体験入学の時などに説明を聞いて、知っている人も多いと思いますが、昨年度から、県立高校に進学すると「1人1台」タブレット端末を準備（購入）することになっています。

このタブレット端末については、進学した高校の入学オリエン

テーションで詳しく説明されます。値段は学校によりますが、3~10万円程度です。高校によっては、既に持っている端末があればそれで対応可能なケースもあるようですが、それもオリエンテーションの際に相談するよう言われます。

たまに、「先に買っておいたほうがいいだろう」と考えて買ってしまう人がいるようですが、ソフトウェアの関係などで、学校によって使用できない端末であることもありますので、早いタイミングで新たに購入しないようにして、高校のオリエンテーションが終わってから考えるようしてくださいね。

なお、購入が困難な家庭の生徒（条件あり）については、分割での購入や、貸出などしてもらえる場合があります。インターネット環境がない家庭は、貸出用のモバイルルーターを用意してもらえることもあります。（ただし、通信費は各家庭もちです）各高校のオリエンテーションで、しっかり確認をするようにしましょう。



## コラム

### 「やりたいこと」が、よくわからない皆さんと、その保護者の皆さんへ。

三年生になって、受験生になって。

「その進路に進んで、何がしたいん?」「なんか、やりたいことあるん?」

そうやって、いろんな人に聞かれることが増えたのではないですか。

すっ、と、答えられる人は困りませんが、正直、「えー特にないけど……」と、返事に困った人も多いのではないでしょうか。

また、自分のお子さんにそう聞いてみて、「えー……」と返事したまま、言葉が続かなかったなあという保護者の方も、たくさんいらっしゃるのではないでしょうか。「自分のことやん、ちゃんと見えなあかんで!」……つい言いたくなるかもしれません、ちゃんと見ても「まだ、わからない」入って、たくさんいるものです。

そんな人は、ぜひ、こう考えてみてください。保護者の方、ぜひこう聞いてみてください。

### 「じゃあ、どんな大人になりたいの?」

こう聞かれると、ほとんどの人が答えられると思います。

「〇〇さんみたいな大人!」「ウソつかない大人!」「やさしい大人!」「まじめに仕事できる大人!」

……進路については、そこから考えていくとよいのではないですか。

ぜひ、聞いてみてください。考えてみてください。

### 「あなたは、どんな大人になりたい?」

今の時点で、無理に「何かやらなきゃ」と考える必要はないと思います。明確な「もの」にこだわらずに、「自分が目指す大人」をイメージし、そうなるためには、どんな道を選ぶのがいいのかな?と考えていくと、少し考えやすくなるのではないでしょうか。

ぜひ、聞いてみてください。考えてみてください。